

とくしま医療最前線



重度肥満の手術治療

みなされ、外科手術で治せるようになってきた。四国で初めて重度肥満の治療体制を整えた徳島大学病院消化器・移植外科の吉川幸造講師に治療法を聞いた。

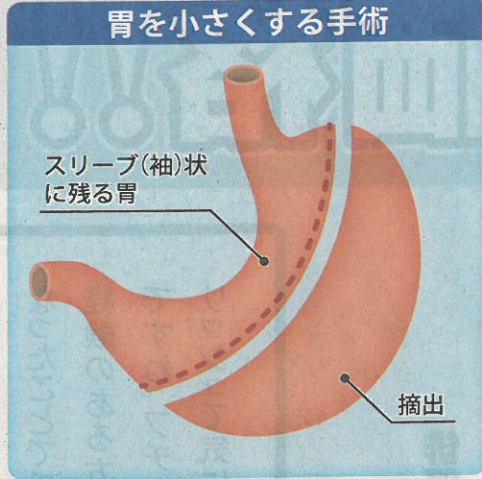
(山口和也)



吉川 幸造  
徳島大学病院消化器  
移植外科講師

食事の欧米化に伴い肥満になる人の割合が増えている。日常生活に支障を来すだけでなく、糖尿病や高血圧といった病気を引き起こし、寿命を縮める要因にもなっている。近年、過度の肥満は病気と

重度肥満の外科手術は、食事療法や運動療法を行っても改善せず、このままでは命に危険が及ぶ人が対象だ。単に「痩せたい」といった美容目的では受けられない。外科手術には、胃を小さくしたり、腸にパイパスを作ったりする方法がある。このうち最も広く行われているのは「袖(スリーブ)状胃切除術」。2014年に医療保険が適用され、ニースは高まりつつある。手術するかどうかを判断する基準には、体重と身長から算出する肥満指数(BMI)を活用する。糖尿病や高血圧といった病気を発



胃の2/3切除し容量減

症している人でBMIが35以上、重症なら32以上が対象だ。スリーブ法は、腹部に4、5カ所の小さな穴を開け、内視鏡を使って胃の3分の2を切り取る。胃の容量を減らすことで、食べる量を少なくするのが狙いだ。切除した胃には、食欲増進ホルモンを分泌する部位も含まれるため、高い減量効果が期待できるという。手術後、2週間程度で軟らかい食事が取れるようになり、食事面の指導を受けながら肥満治

適切な食生活の継続必要

療を続ける。ただ「治療はここからが肝心」と吉川講師は強調する。胃の容量を小さくして食事を減らしても、高カロリーの菓子などを食べれば、体重は再び増加していく。このため、肥満治療は、患者の強い意志と適切な食生活の継続が決め手になる。吉川講師は「肥満が引き起こす病気のために、若くして命を落とす人もいます。手術の内容などをしっかりと理解した上で、治療に臨んでほしい」と話している。徳島大学病院の問い合わせは、外科外来(電0888(6333))71366。

BMIの算出方法

BMI = 体重(キログラム) ÷ 身長(メートル) ÷ 身長(メートル)

※例えば体重120キログラム、身長170センチならBMIは41.5

肥満症の診断基準

25以上 肥満

35以上 重度の肥満  
(治療対象)

徳大病院 近く保険適用可能に

重度肥満の外科手術ができるのは、内視鏡手術の専門医だけだ。しかも、手術を行っている病院は全国で25カ所にとどまり、東京や大阪など大都市に集中している。地方在住者にとって治療体制は十分とは言えない。医療保険が適用されるのは、手術実績が10例以上の専門医がいる認定病院。徳島大学病院では、吉川幸造講師が中心となって症例を重ねており、近く四国初の認定病院になる見通しだ。吉川講師は「手術後のケアなど肥満治療に欠かせないチーム医療体制は整った。さらに実績を積み重ね、県内だけでなく四国の患者を受け入れたい」と話している。